

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	医者
	オプション		年齢		性別	
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	30	%
出自		経験	多忙	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	2	1	0		3	6	行動値	-1
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	13	4	芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンヴィークル	運転	13r+17		13		運転任意、判定+1D
クライマックス回避	運転	25r+34				サブアーマー、オリジナルツール6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
フォールンヴィークル		13		-3	
サウンドアーマー		3	0	-5	リアクション達成値+5

所持品	
ロボカー	オペレーションX
ブルージズ	ホープインザボックス
フォールンズプライト	ディシプリンズアクト
エンブレム支部長セット	
リーダーズマーク肉体	
コマンダーズマーク	
アレクサンドリア	
エンブレムエージェントセット	
プラチナムナビ	

合計装甲: 16 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ タス 消費
秘密兵器	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
フルディフェンス	5	4	せ	しき		じ		
効果:	リア、オートダイス+Lv*2即行動済							
エースドライバー	1	1	り			た		
効果:	ドッジ							
スタートダッシュ	3	3	せ	しき	じ	じ		
効果:	戦闘移動,Lv/Sc							
リフレックス	3	2	り			た		
効果:	C-Lv							
砂の結界	1	2	お	しき	た	じ		
効果:	カバリング,1*Ma							
激情の早鐘	1	4	お	しき	じ	じ	100	
効果:	復活時次メイン終了までC-1min6,Lv/Sn							
オリジナルツール	5	4	お	しき	じ	じ	100	
効果:	Ro間選択技能達成値+Lv*2,1/Ro							
妄想の写し身	2	5	お	しか	た	じ	120	
効果:	自身or自身対象攻撃の出目を1つ1or10に変更,Lv/Sn							
	★							
効果:								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

元は救命医だった。必然的に緊急の患者ばかりだ。助けられなかった奴も大勢いる。仕方がないって院に籠ってる連中は言うけどよ、俺はそうは思えなかった。がむしやらに働いて、患者を運び込んだ救急車に要請が入ればそのまま乗ってこことすらあった。だから大事なところでドジ踏んじまったんだろな。クズになって公園のベンチで呆けてた時、遊んでた子供がボールを追って飛び出してたのが横目で見えた。なんでそこで飛び込んでいったのか今でもわからない。さしたる音も無くともでもないスピードで一瞬で距離を詰めてくる車の前で止まってた子供を押しつけて、俺は真っ二つになった。頭を打ったのか、息をしているのが意識のなかったあのチビを診てやれなかったのが心残りだが、報われた気がして、俺は目をつぶった。

「目覚めたようだな」
天国にしちゃ葉臭い、まるでオペ室みたいな場所で俺は目を覚ました。お別れした下半身もついている。そして目の前にはラフな装いの男が一人
「医者だったのならわかっていだろう。君は一度死んでいる。そして蘇ったのだ」
精神科の仕事なんてほぼ覚えちゃいねえ。どう対処したものかと頭をかくと、その腕が落ちた。
「なんじゃこりゃあああ！！」
見ればどこから出したのか剣ほど長さのある刃物を持った男は床に落ちた俺の腕を消し炭にすると自分の腕も同様に切り落として燃やした。呆然と自らの腕の断面を見ていると血に交じって固体がせり出してくる。再生しているのだ。服以外元通りになった腕を眺め、ハッとって刃物男を見る。男の腕も元通りだし刃物も煙のように失せている。
「法的には君は死んだことになっている。だが我々には君が必要だ」

仕事も人間もクズになった俺の再就職先は、けげ物集団だった。

人事記録:
経歴:医師を退職後、交通事故で発症が発覚。その後UGNIに回収され救命医としての技術を買われホワイトハンドに至る。